

第70回河畔病院勉強会

大脳基底核

運動・行動における役割と病態

9月6日（日） 9:00～15:00

私たちは日常生活の中で、無意識のうちに「動く」「止まる」「選択する」といった行動を繰り返しています。その背景には、大脳基底核と呼ばれる脳内ネットワークが重要な役割を担っています。大脳基底核は運動の制御だけでなく、行動選択や学習、意思決定にも深く関与しており、その機能障害はパーキンソン病、ジストニア、不随意運動などさまざまな神経疾患の病態と密接に関係しています。本講演では、大脳基底核研究の第一人者である南部篤先生をお招きし、運動と行動における大脳基底核の役割について、生理学的メカニズムから病態生理、さらには治療への応用まで、最新の研究知見を交えながらご講演いただきます。南部先生は、大脳基底核の直接路・間接路・ハイパー直接路の機能解明や、パーキンソン病をはじめとする運動障害の病態研究において世界的に高く評価されています。基礎神経科学と臨床をつなぐ貴重な学びの機会として、多くの皆様のご参加をお待ちしております。



講師：南部 篤先生

生理学研究所
生体システム研究部門 名誉教授

大脳基底核を中心とした運動制御機構の研究に長年取り組まれ、パーキンソン病やジストニアなどの運動障害の病態解明において世界的な研究成果を挙げられている。


会場 河畔病院 1F研修ホール 佐賀県唐津市松南町119-2

費用 5000円

持ち物 筆記用具、昼食

定員 80名 先着順

主催：河畔病院リハビリテーション勉強会

 0955-77-2611

 rehab.kahan.study@gmail.com



お申し込みはこちら